



## 2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月25日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東  
 コード番号 7590 URL <https://takasho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高岡 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理 (氏名) 井上 淳 (TEL) 073(482)4128  
 本部副本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年9月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年1月期第2四半期の連結業績(2021年1月21日～2021年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	11,270	16.1	1,163	42.5	1,227	62.7	865	61.5
2021年1月期第2四半期	9,706	3.2	816	110.5	754	132.6	535	237.6

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 1,196百万円(153.8%) 2021年1月期第2四半期 471百万円(231.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	59.34	59.22
2021年1月期第2四半期	36.74	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	21,198	10,425	48.7
2021年1月期	19,691	9,516	47.9

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 10,323百万円 2021年1月期 9,423百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年1月21日～2022年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,350	10.1	1,506	30.2	1,452	26.0	1,100	15.4	75.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年1月期2Q	14,679,814株	2021年1月期	14,679,814株
2022年1月期2Q	101,578株	2021年1月期	101,485株
2022年1月期2Q	14,578,303株	2021年1月期2Q	14,578,329株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定されており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症についてはワクチン接種が始まったものの緊急事態宣言が再度発出されるなど、引き続き感染拡大が継続しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くガーデン・エクステリア業界におきましては、2021年4月～6月期における実質GDP成長率は前期比年率1.3%と2四半期ぶりにプラス成長となり新設住宅着工戸数も2021年3月度より増加傾向となっているものの、依然として先行きは不透明な状況となっております。また、昨年に引き続き、例年開催される展示会やイベント等も中止を余儀なくされました。

このような環境下において、新しい生活様式が浸透している中、花や植物など自然を取り入れることでストレスのない庭での暮らしが求められており、DX（デジタルトランスフォーメーション）による提案とお客様のカスタマイズに対応する製造の強化を図りました。さらに、2021年6月23日～25日にWEB展示会「TAKASHO WEB G&EX フェア2021」を開催し、営業活動の強化を図りました。また、海外の販売においては、ホームデポやコストコを始めとする世界の有力店との取引も本格化され、eコマースにおいてはアマゾンや自社サイトにおいてドロップシップ方式による販売活動の強化を図りました。

国内の売上高につきまして、プロユース部門では家と庭をつなぐ中間領域である「5th Room」（五番目の部屋）のコンセプトに基づく基軸商品の「ホームヤードルーフ」とその周辺アイテムの売上拡大と新築外構工事におけるファサードエクステリアのデザイン性向上のための様々な顧客サポートを行ったことにより、売上高は前年同四半期と比べ9.4%増加いたしました。

ホームユース部門においては、ライフスタイルの変化に伴い、ガーデニングの需要が高まり、また定着しつつあることから、販売先である量販店での売上拡大やeコマースにおけるガーデニング用品の売上拡大により前年同四半期と比べ8.3%増加と大幅に伸長いたしました。

海外の売上高につきましても、健康的で持続可能なライフスタイルが望まれるなか、ガーデニングの需要が持続し、特にeコマースにおけるガーデニング用品の売上高が前年同四半期と比べ81.9%増加いたしました。

さらに、当社社会が運営するガーデン・エクステリア業界の情報に特化したWebプラットフォーム『GARDEN STORY（ガーデンストーリー）』は、2020年5月に過去最高PV・UU達成以降も、家庭菜園や季節の植物に関わる記事へのアクセスが勢いを持ったまま推移していることから、多くの方が植物に興味を持ち、“ガーデニングや家庭菜園とともにある暮らし”の定着が表れる結果となりました。このような状況を好機と捉え、当社グループにおきましては、DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みとして、AR・VR・MRなどの最新デジタル技術を活用したガーデンシミュレーションアプリや庭空間動画ソフトパッケージなどの研究開発を目的に、鳥取市にタカショーGLD-LAB. Soft-Factory鳥取（タカショー ジェルディーラボ、ソフトファクトリー トットリ）を2021年4月1日に開設し、引き続きフィリピン共和国にTAKASHO GARDEN LIFE DESIGN LAB PHIL. Corp（タカショー ガーデン ライフ デザイン ラボ フィリピン 株式会社）を2021年5月に設立し、DX化の強化を図ってまいります。

販売費及び一般管理費においては、DX化による販売促進活動の強化、ICT研究開発拠点（タカショーGLD-LAB. Soft-Factory鳥取）の開設や名古屋ハイブリッド型ショールームの新設を行ったことにより減価償却費と一時的な設備費用が発生したことや、売上増加に伴う運賃が増加するなか、営業活動において昨年引き続き”リアルとネット”を融合させ効率化を図ることで営業経費が前年並みで推移したことにより、増加を抑えることができました。今後も更に業務効率の改善を進め、Web受注やRPA、またIoTやICTなどの最先端のIT化を急速に進めることで経費削減に努めてまいります。

営業利益においては、販売費及び一般管理費が前年同四半期を上回ったものの、売上高が増加し、原材料および海上運賃が高騰するなか自社生産品の販売構成比の増加やeコマース分野の売上構成比増加等により、粗利率が前年並みで推移したことから、前年同四半期と比べ42.5%増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,270,212千円（前年同期比16.1%増）と増加し、営業利益は1,163,883千円（前年同期比42.5%増）となりました。経常利益は1,227,531千円（前年同期比62.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は865,024千円（前年同期比61.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,506,825千円増加し、21,198,216千円となりました。これは主に売上債権の増加とたな卸資産の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ598,585千円増加し、10,773,180千円となりました。これは主に仕入債務の増加と借入金の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ908,240千円増加し、10,425,036千円となりました。これは主に利益剰余金と為替換算調整勘定の増加によるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ303,720千円減少し、3,638,592千円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における営業活動による資金の増加は、1,292,908千円(前年同四半期は1,018,028千円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が1,223,295千円(前年同四半期は760,329千円)となったこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における投資活動における資金の支出は、279,796千円(前年同四半期は210,274千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が194,324千円(前年同四半期は132,694千円の支出)となったこと等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における財務活動による資金の支出は、1,402,122千円(前年同四半期は411,036千円の収入)となりました。これは主に新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響を考慮し運転資金の増強を行っていたため長期借入金の返済による支出が1,118,184千円(前年同四半期は79,018千円の支出)となったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、2021年3月3日に公表いたしました「2021年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における2022年1月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2021年8月23日公表いたしました「2022年1月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正並びに期末配当予想(増配)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,942,313	3,638,592
受取手形及び売掛金	2,640,052	3,878,674
電子記録債権	572,227	671,934
商品及び製品	2,826,455	3,029,944
仕掛品	358,300	408,903
原材料及び貯蔵品	1,169,705	1,180,002
その他	798,766	888,498
貸倒引当金	△120,296	△126,914
流動資産合計	12,187,525	13,569,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,459,106	3,679,664
土地	1,008,968	1,043,608
建設仮勘定	146,948	6,754
その他(純額)	941,303	924,321
有形固定資産合計	5,556,327	5,654,348
無形固定資産		
のれん	13,363	11,727
その他	401,037	443,500
無形固定資産合計	414,401	455,227
投資その他の資産		
投資有価証券	260,149	281,490
繰延税金資産	226,180	100,413
その他	1,067,347	1,157,346
貸倒引当金	△20,540	△20,246
投資その他の資産合計	1,533,137	1,519,003
固定資産合計	7,503,866	7,628,579
資産合計	19,691,391	21,198,216

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,001,688	4,531,647
短期借入金	3,943,756	3,873,259
1年内返済予定の長期借入金	356,130	60,845
未払法人税等	114,397	245,266
賞与引当金	70,461	22,195
その他	1,337,552	1,355,492
流動負債合計	8,823,985	10,088,706
固定負債		
長期借入金	771,899	129,000
退職給付に係る負債	7,440	7,543
資産除去債務	211,219	221,660
その他	360,050	326,269
固定負債合計	1,350,609	684,473
負債合計	10,174,595	10,773,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,820,860	1,820,860
資本剰余金	1,862,014	1,862,014
利益剰余金	5,427,501	6,000,958
自己株式	△26,529	△26,603
株主資本合計	9,083,847	9,657,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,236	139,965
繰延ヘッジ損益	△7,936	10,446
為替換算調整勘定	142,835	389,513
退職給付に係る調整累計額	79,549	126,053
その他の包括利益累計額合計	339,686	665,979
新株予約権	2,341	2,882
非支配株主持分	90,921	98,943
純資産合計	9,516,795	10,425,036
負債純資産合計	19,691,391	21,198,216

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月21日 至2020年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月21日 至2021年7月20日)
売上高	9,706,617	11,270,212
売上原価	5,361,502	6,220,461
売上総利益	4,345,115	5,049,750
販売費及び一般管理費	3,528,404	3,885,867
営業利益	816,710	1,163,883
営業外収益		
受取利息	3,956	5,548
受取配当金	1,809	2,292
受取手数料	21,912	21,084
為替差益	—	51,313
その他	27,469	46,106
営業外収益合計	55,147	126,345
営業外費用		
支払利息	44,509	38,251
売上割引	16,769	18,665
為替差損	49,604	—
コミットメントフィー	3,099	2,353
その他	3,218	3,426
営業外費用合計	117,202	62,697
経常利益	754,655	1,227,531
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	7,129	—
特別利益合計	7,129	—
特別損失		
固定資産除却損	61	3,558
固定資産売却損	—	678
減損損失	1,394	—
特別損失合計	1,456	4,236
税金等調整前四半期純利益	760,329	1,223,295
法人税、住民税及び事業税	136,486	265,532
法人税等調整額	87,474	91,662
法人税等合計	223,961	357,194
四半期純利益	536,367	866,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	824	1,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,542	865,024



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月21日 至 2021年7月20日)
四半期純利益	536,367	866,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	14,729
繰延ヘッジ損益	△26,849	18,382
為替換算調整勘定	△18,100	251,185
退職給付に係る調整額	△19,819	46,503
その他の包括利益合計	△64,806	330,801
四半期包括利益	471,561	1,196,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	473,111	1,191,317
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,549	5,583

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月21日 至2020年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月21日 至2021年7月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	760,329	1,223,295
減価償却費	357,124	306,029
のれん償却額	1,483	1,636
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,800	6,286
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,522	△48,266
受取利息及び受取配当金	△5,765	△7,841
支払利息	44,509	38,251
為替差損益(△は益)	29,266	12,074
固定資産除却損	61	3,558
減損損失	1,394	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,096,556	△1,306,108
たな卸資産の増減額(△は増加)	330,461	△171,470
その他の資産の増減額(△は増加)	49,527	△44,463
仕入債務の増減額(△は減少)	452,110	1,465,991
その他の負債の増減額(△は減少)	229,508	84,380
未払消費税等の増減額(△は減少)	55,669	△125,016
その他	7,730	21,911
小計	1,217,576	1,460,248
利息及び配当金の受取額	5,765	7,841
利息の支払額	△40,990	△40,517
法人税等の支払額	△164,323	△134,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,018,028	1,292,908
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△132,694	△194,324
無形固定資産の取得による支出	△82,091	△74,994
投資有価証券の取得による支出	△152	△160
その他	4,663	△10,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,274	△279,796
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	9,237,700	5,550,000
短期借入金の返済による支出	△9,546,150	△5,657,000
長期借入れによる収入	1,050,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△79,018	△1,118,184
自己株式の取得による支出	—	△74
配当金の支払額	△145,783	△291,566
その他	△105,712	△65,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	411,036	△1,402,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,543	85,289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,181,247	△303,720
現金及び現金同等物の期首残高	2,790,147	3,942,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,971,394	3,638,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。